



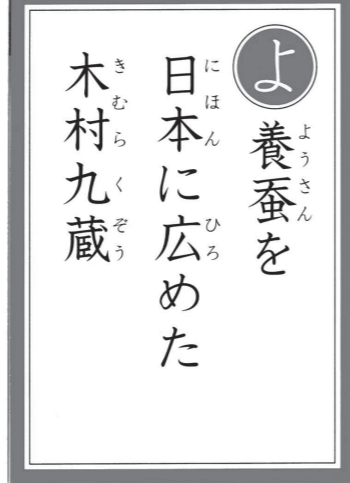
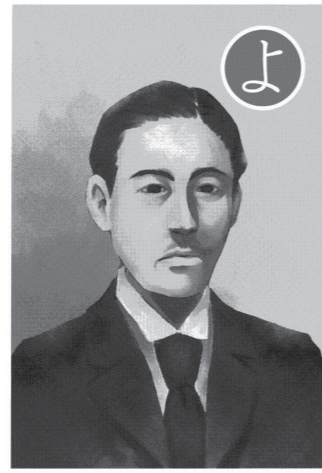
かみかわの歴史・発見!

第22回 養蚕の改良に努めた 木村九蔵

問合せ 生涯学習課 文化財担当 ☎0274-52-2586 FAX0274-52-2586

神川の自然や歴史・文化を知って郷土を愛せる人になって欲しいという願いを込めて作られた「新神川郷土かるた」に“よ”養蚕を日本に広めた木村九蔵 という札があります。今回は木村九蔵の功績を紹介したいと思います。

木村九蔵は、弘化2年(1845年)に上野国緑埜郡高山村(現在の群馬県藤岡市)に生まれ、幼い頃は高山巳之助といいました。世界遺産『富岡製糸場と絹産業遺産群』の構成資産のひとつである高山社*を創設した高山長五郎は巳之助の兄にあたります。元治元年(1864年)に武蔵国児玉郡新宿村(現在の大字新宿)の木村家に婿入りし、木村九蔵と名前を変えました。



九蔵は、少年の頃から養蚕に興味を持ち、13歳の時に優良な繭を作って村人を驚かせました。その繭は火力で保温しながら蚕を育てるという方法で、この飼育法をさらに研究した九蔵は27歳の時に「一派温暖育」という蚕の飼育法を発表しました。この飼育法を発表したことにより、九蔵のもとには飼育法を学びたいという人がたくさん訪れるようになりました。このことから明治10年(1877年)に養蚕改良競進組をつくり、飼育法の普及に努

めました。明治13年(1880年)に「白玉新撰」という新品種を発表し、明治22年(1889年)の内国勸業博覧会で一等賞となりました。一時期、日本の全流通の50%をこの白玉新撰が占めていました。

明治17年(1884年)には競進組を競進社と改めて、現在の県立児玉白楊高校の前身にあたる養蚕伝習所を開設し、さらなる養蚕の普及に励みました。養蚕伝習所で学んだ卒業生によって、九蔵の考案した飼育法が各地に伝えられ、日本の養蚕業発展に貢献しました。

明治31年(1898年)に九蔵は病気で亡くなりますが、九蔵の遺志は後進たちに引き継がれ、功績を称える碑が金鎖神社境内に建立されました(写真)。この「木村翁頌徳碑」の額字は初代内閣総理大臣 伊藤博文によるものです。

※高山社…高山長五郎が明治17年(1884年)に高山村に設立した養蚕業の研究・教育機関。

巡回教師の派遣と蚕業学校によって、長五郎が確立した「清温育」の普及に貢献しました。



こども農園では随時参加者を募集しています。活動に参加したい方は、保健センターにご連絡ください。



こども農園だより

問合せ 保健センター ☎0495-77-4041 FAX0495-77-0550

◆10月の活動◆

感染症拡大防止のため、3グループに分け、各グループ1時間弱の収穫活動を行いました。大きなサツマイモに、こども達も大喜びでした。



◆サツマイモの種類を一部紹介します◆

- ①紅あずま:ほくほく系
皮は濃い赤褐色で、中は黄色。繊維質は少ない。ホクホクとねっとりの中間タイプで、どんな料理にも向いています。また、育てやすいのも特徴です。
- ②紅はるか:しっとり系
しっとりしていてもホクホクした食感を残しているため、後味がスツクリとしており強い甘みながらも上品な味わい。
- ③安納芋:ねっとり系
極甘さつまいもの火付け役となった、種子島生まれの品種。「とにかく甘~いさつまいも」の代表格。中に蜜がたっぷり詰まった、スイーツのような甘さです。



ひびきの農協からのお知らせ

問合せ 埼玉ひびきの農協 神川支店 ☎0495-77-2401

使用期限の切れた農薬・使用しなくなった農薬・その空容器等の処理にお困りではありませんか? 農協では不要となった農薬等を、一括して廃棄物処理業者に依頼することに致しました。処理に困っている農薬や空容器等がありましたら、多少に拘わらずご相談ください。

【回収日程および場所】

1月28日(木) 南部営農経済センター神川倉庫(大字貫井317) ☎0495-77-4413

【処理単価】

| 項目 | 単位 | 単価 |
|-------------------------|--------------|--------|
| 一般農薬(粉剤・粒剤・水和剤・乳剤) | 1kg当たり | 360円 |
| 一般農薬(石灰硫黄合剤・燻煙剤類等) | | 360円 |
| 特殊農薬A分類(クロールピクリン等) | | 2,000円 |
| 特殊農薬B分類(水銀剤等) | | 5,000円 |
| 農薬空容器(ポリ及びガラス瓶) | | 700円 |
| 線虫剤空き缶(DD、DC、クロールピクリン等) | 1缶(JAより購入) | 20円 |
| | 1缶(JA以外より購入) | 100円 |

- (備考)
- 処理費用には容器の重さを含みます。
 - 処理費用は持込当日、現金でお支払い下さい。
 - 特殊農薬B分類は、一品目1kg未満の場合は一律5,000円の処分料となります。

【注意事項】

- 回収時は、空ポリ容器、空き瓶容器、空袋、中身入り農薬など分別してお持ち下さい。
- 100g単位で切り上げ計算となります。
- 空容器はポリ瓶及びガラス瓶のみとし、臭化メチル薫蒸剤の空き容器は回収できません、中身入りは回収致しません。
- 不明農薬については、別途費用が掛かる場合と回収出来ない場合があります。
- 回収場所まで運ぶ際には、破損流失等の事故のないよう十分注意して下さい。
- 線虫剤空き缶(DD、DC、クロールピクリン等)は、穴を開け、ガス(臭気)は十分に抜いておいて下さい。万一、不十分な場合は回収できない場合があります。また、缶のフタはつけないようにして下さい。
- 回収後、業者の判断により別途費用が掛かる場合があります。